

要件定義書

プロジェクト名：高杉博史ポートフォリオサイト改修（フェーズ 2）

URL: <https://takasugi.blog/>

作成日：2025 年 06 月 15 日

作成者：高杉博史（聞き手：WEB 制作プロディレクター）

1. プロジェクト概要

本プロジェクトは、既にフェーズ 1 として基本構築された「高杉博史ポートフォリオサイト」を、フェーズ 2 へ移行するための改修を行うものである。

目的は、**就職活動・スキル証明・自己学習支援・AI 活用の実験場**として多機能かつ実用的なサイトへと成長させることである。

2. 目的

- 応募企業への提出用ポートフォリオ／添付プレゼン資料
- 技術習得・実装検証のためのカンニングサイト
- チームへの共有・技術アーカイブとしてのドキュメント化
- AI プロンプトの実用検証と業務改善ツール化

3. 対象ユーザー（ペルソナ）

優先度順：

1. 応募企業担当者（特に人事） - リテラシー：中～低（非技術者含む）
2. 技術職志望者（中程度の PC リテラシー）
3. 本人 - （・技術習得・検証・活用）

※包括的に全体に近いが記載順に優先順位付けする事で応募企業の現場担当者をカバーする結果に結び付ける。

4. 制作サイト概要

タイトル：論理と思考を乗算する。WEB ポートフォリオ。

キャッチコピー：LUV IS CONNECT ALL THE WHILE();

※翻訳に掛けると意味が通るが厳密には英語とスラング、プログラミング言語の造語

ディスクリプション：実務効率のために設計した“見せるだけでなく“使える””をコンセプトにしたポートフォリオ型テンプレート。

※一般的な実績掲載型ポートフォリオからは逸脱する切り口を変えた物。

5. 応募職種想定と技術方向性

技術レベルをキープ（キャッチアップ）しつつの＋アルファの職。本質は伝える事で解決し貢献し結果を出す。WEB 制作と＋アルファを掛け合わせた物を武器に本質を叶える形となる。

応募職種	優先度	補足
テクニカルディレクター	高	短期キャッチアップ可能、 応募職種に直結
AI 活用業務改善職	中高	実装済みプロンプト例あり
プロンプトエンジニア		
フロントエンド方向（EC 含む）	中	実験要素多く含む
Web デザイナー方向	中	UI は最低限設計済
バックエンド/インフラ	低	実務経験未達、今後の技術 習得課題

超略歴は専門卒 Flash 衰退後、チームの大切さを知る大手携帯会社コーダー出向を経て実装ディレクターとし出向した大手旅行サイト改修炎上案件終息後、体調崩しブランク回復後に教育関連従事経て再上京。

6. 改修対象とフェーズ 2 での目的

機能	フェーズ 2 改修方針
バックエンド (PHP → Python)	Flask への移行、AI 処理統合／UI 改善
カレンダー	表示改善、タグ許可対応、プロンプト選定
音声投稿	音声入力→記事化、校正強化
ランダムカラー切替	単調な UI 改善、視認性・アクセシビリティ対応
プロンプト出力	コード生成精度向上コピー対応 UI 最適化
AI 記事生成・精度検証	生成例の表示/改善/評価 UI 追加
アニメーション	UI 付き動画表現の簡素化（見出しアニメ等に限定）

7. デザイン・UI 設計

- HTML/CSS ベースで作成済みの簡素なワイヤーをアップデート、コーディングは最小構成を維持
- モバイル/PC 両対応済（フェードイン動画含む）
- ヘッダーリード文・コンセプト文は応募企業に応じ差し替え可能にする（個別テンプレート化）

8. 技術構成（予定）

- フロントエンド：HTML, CSS, JavaScript (Vanilla)
- バックエンド：PHP（旧） → Flask（新）
- DB：MySQL（カテゴリテーブル追加予定）
- CMS 連携：WP・Shopify 未対応（今後要検討）
- AI 連携：ChatGPT API / 音声入力 API / 画像生成 API 等

9. フェーズ1 消費工数（実績ベース）

- フォーム/チャット/カレンダー/PHP：約2ヶ月
- デザインワイヤー制作・更新：約8日
- 各種統合・整形作業：約2日
- カレンダー復元+タグ等追加：約1日
- モバイル対応・ヘッダー修正：約3日
- AI 記事生成・検証・UI 改善：約5日
- JS 関連表現（ランダムカラー等）：約3日

10. 懸念点・課題

- ドキュメント能力の強化（記録精度や共有文書の整備が必要）
- Git 管理の未整備（導入優先度高だが要サポート）
- フレームワーク(JS、PHP 供)経験不足（習得計画を要設計）
- チームディレクション経験が浅い（業務改善力でカバー可能）
- 体力・時間的制約（効率化重視の実装と技術習得が必要）

11. 今後のアップデート構想（抜粋）

- Flask+AI によるバックエンド再構築
- 記事カテゴリ・タグ管理テーブル実装
- 拡散マーケティングに繋がる情報出力・外部連携機能

12. 備考

- 応募企業別の文言最適化や誘導要素のカスタマイズは個別テンプレートとして管理
- 技術デモの動画コンテンツ化（AI 生成含む）を検討
- ヒアリング同席済につき、必要に応じて再確認の上調整可能
- 長所を伸ばしつつ短所を資産に変えるスタンスと技術キャッチアップ法の再構築と改変を目的にした一貫の要件定義書作成である。

技術習得記事：【実体験】AI 時代の Web 制作学習法|ブランクあり制作者が訓練で Python を学び見出したキャリア戦略

(https://takasugi.blog/weblog_display.php?page=30)

- この要点定義書は制作記事：要件定義書は本当に必要？ウェブ制作のプロが語る、作るべきケース・作らないケース

(https://takasugi.blog/weblog_display.php?page=32) の作成例も兼ねて作成した。